

富岡町に暮らす人と人、  
人と町の話をつなぐ情報誌



## TOMIOKA CROSS TALK

VOL.2 町民座談会  
「とみおかくらし  
移住・定住促進について考える」

INFORMATION 移住相談窓口  
「とみおかくらし情報館」  
&お試し住宅開設

### COVER PHOTO

#### 夜の森の桜並木 [2022.4.10]

待ち焦がれた春が到来。2023年春の避難指示解除<予定>に先行して、今年1月に夜の森地区を中心とした特定復興再生拠点区域への立ち入り規制が緩和されたことで、富岡町民が誇る2.2kmの桜並木全てが自由に観桜できるようになりました。4月9日・10日に開催された桜まつりに訪れる人たちを待ち構えていたかのように膨らみ咲いた桜たち。並木を歩く・踊る人たちの表情には笑顔が満開でした。



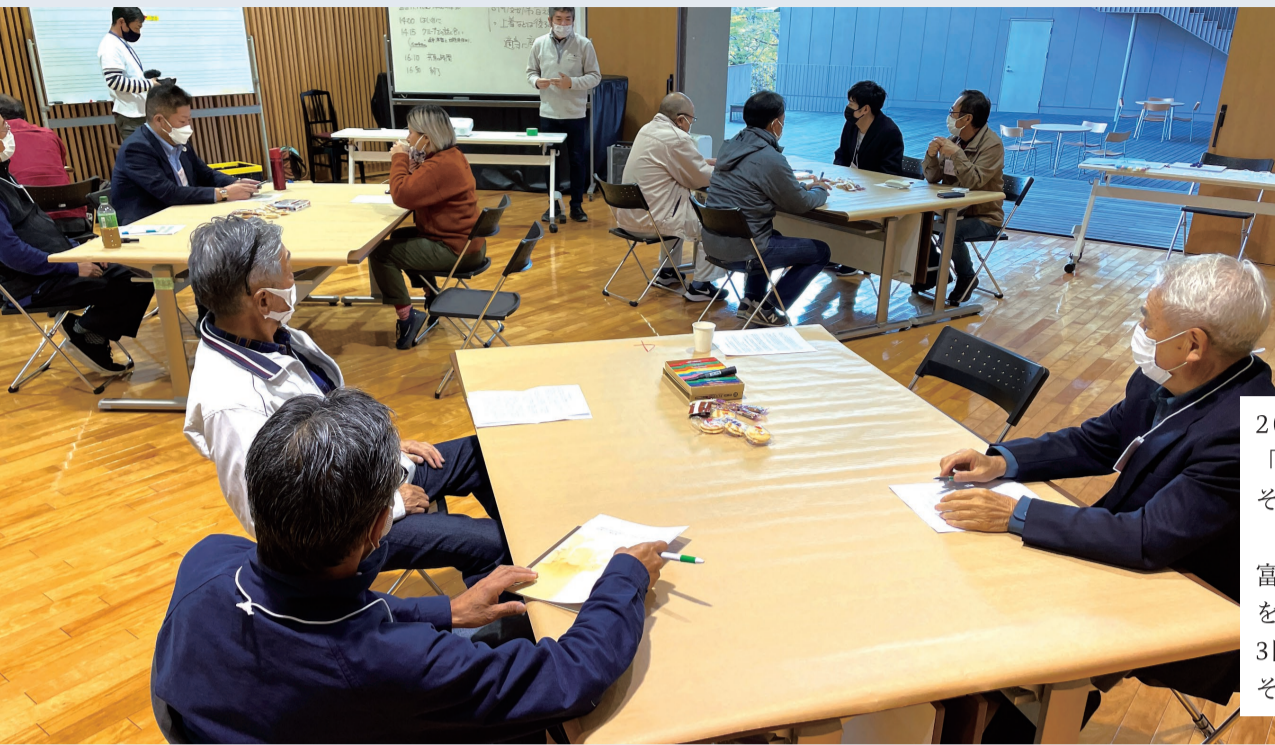
# TOMIOKA CROSS TALK

VOL.2

町民座談会

「とみおかくらし」

移住・定住促進について考える」



2022年3月15日富岡町に、移住定住促進の問い合わせ窓口「とみおかくらし情報館」がオープン。その窓口を、とみおかプラスが運営することになりました。

富岡町で、移住・定住を進めていくにあたり、町の人たちと意見を伝え合うため、3回にわたって座談会を行いました。そこで生まれた町の人たちの言葉を紹介します。



テーマ 1

## 地元の人と移住者で どういう地域をつくりたい？

昔の行事（まつり）を復活できれば  
移住者も楽しいんじゃないか？（60代男性・出身者）

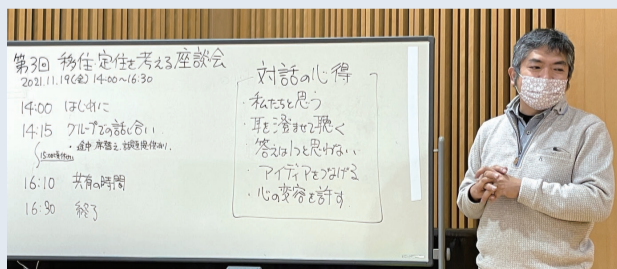
「特別」じゃなくてもいい。日常を一緒につくって  
いく、少し背中を押す人がいる地域に。  
（30代女性・1ターン）

自分たちが住みたいと思うまちを、地元住民、新住民の  
区別なくみんなで作って行ければ。  
（60代男性・出身者）

移住者という言葉に固執しない。住めば町民、新しい  
住人という視点を持つこと。（60代男性・出身者）

庭にテーブルを出してちょっとしたお茶会をして移住者  
をもてなしたい！（60代男性・出身者）

移住・定住施策の前に富岡町の魅力を再認識すべき  
なのは。これがあるから富岡に行く、住むという  
確固たるものが必要だと思う。（60代男性・出身者）



対話や意見の共有をサポートして下さったファシリテーターの山口さん

テーマ 2

## 良い地域をつくるために 大切だと思う視点は？

富岡町の復興に人口を増やすことは欠かせないと思うので、  
住んでくれるなら誰でもOK!! と思っていたが、“誰と生きていくのか？”  
というフレーズがとても大事だと思った。  
共に地域をつくっていくと考えた時、移住を望む人を  
こちらから選んでもいいかな？と思う。  
（60代男性・出身者）

地元居住者が、心を開いて移住者を受け入れる。  
（60代男性・出身者）

富岡町民は全員（避難という形で）移住を経験している。  
移住先（避難先）で経験した良かったこと、嫌だったことを  
活かした地域ができるのでは。（60代男性・出身者）

町内に区長がいない地域も多いから、隣人を把握できていない。  
いざという時に相談できる仕組みの再構築が必要だ。  
（60代男性・出身者）

転勤・復興作業などで富岡に来ている人たちとの情報交換や  
共同作業の場をつくる。富岡にはそもそもそういう歴史があった。  
（60代男性・出身者）

テーマ 3

## 将来富岡町が どんな町になっていたら いいなと思いますか？

富岡が富岡であるために、震災前の行事や建物のネーミングなどを  
継承していけたらいい。  
（30代男性・Uターン）

町で育つ子どもにはどんな経験が必要か、考えてみたい。  
（30代男性・Uターン）

田んぼ、畑（野菜）を作って朝市を盛り上げたり、漁港があるので  
市場を作り、富岡町に活気を取り戻したい。（60代男性・1ターン）

自宅に近所の人が集まってきて、お茶を飲んだり、世間話したり、  
手仕事（みそづくりとか）を教えてもらったり、交流の場をつくりたい。  
（30代女性・1ターン）

小中学校の運動会、学校の発表会、えびす講市などで、誰もが  
子どもを見守る町へ。（60代男性・1ターン）



震災前から富岡町に住んでいた方、震災後にUターン、Iターンして今富岡町に住んでいる方、のべ40人ほどが座談会に参加し、町への思い、移住・定住に対する気持ちを伝えてくださいました。

とみおかプラスで移住・定住窓口を開くにあたり、このようなさまざまな声を聴けたことは、とても貴重な機会でした。

これから始まっていく、富岡町の移住・定住施策。

今、富岡町に暮らす人たちと、これから新しく富岡町に暮らす人、戻ってくる人、それぞれがゆるやかにつながりながら、ともに町をつくっていくお手伝いのできたらと思っています。

これからもぜひ、声を聞かせてください。

# INFORMATION

## 移住相談窓口「とみおかくらし情報館」オープン！



富岡への移住・帰還を検討する方に向け「とみおかくらし情報館」を整備し、2022年3月15日に開所式を行いました。スタッフが役場・企業・人と連携して、移住に関連した暮らしの相談に応じます。施設内の見学も可能ですので、お気軽に覗きにいらしてください。



わたしがナビゲートします！

スタッフ 辺見



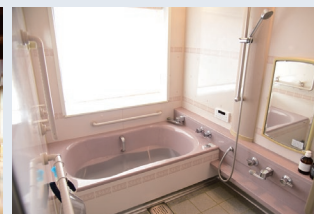
## 富岡町移住相談窓口「とみおかくらし情報館」

住 所 福島県双葉郡富岡町大字小浜字中央338 (旧竹村写真館)  
電話番号 0240-23-6983  
営業時間 9:00 ~17:00 ※年末年始を除く

## お試し住宅も開設！

とみおかくらし情報館の開所と同時に、富岡への移住を検討する方が実際に宿泊して町の暮らしを体験できる「お試し住宅」をご用意しました。町を散策して暮らしのイメージを具体化したり、職探し・住まい探しの拠点としてご利用いただけます。

内覧をご希望の方は、とみおかくらし情報館までお越しください。



発行 一般社団法人  
**とみおかプラス**  
TOMIOKA PLUS

「一般社団法人とみおかプラス」は2017年に富岡町のまちづくり会社として設立しました。富岡のまちづくりに熱い思いをもつあらゆる人々との協働のもと“未来に向けたまちづくり”を主導していきます。